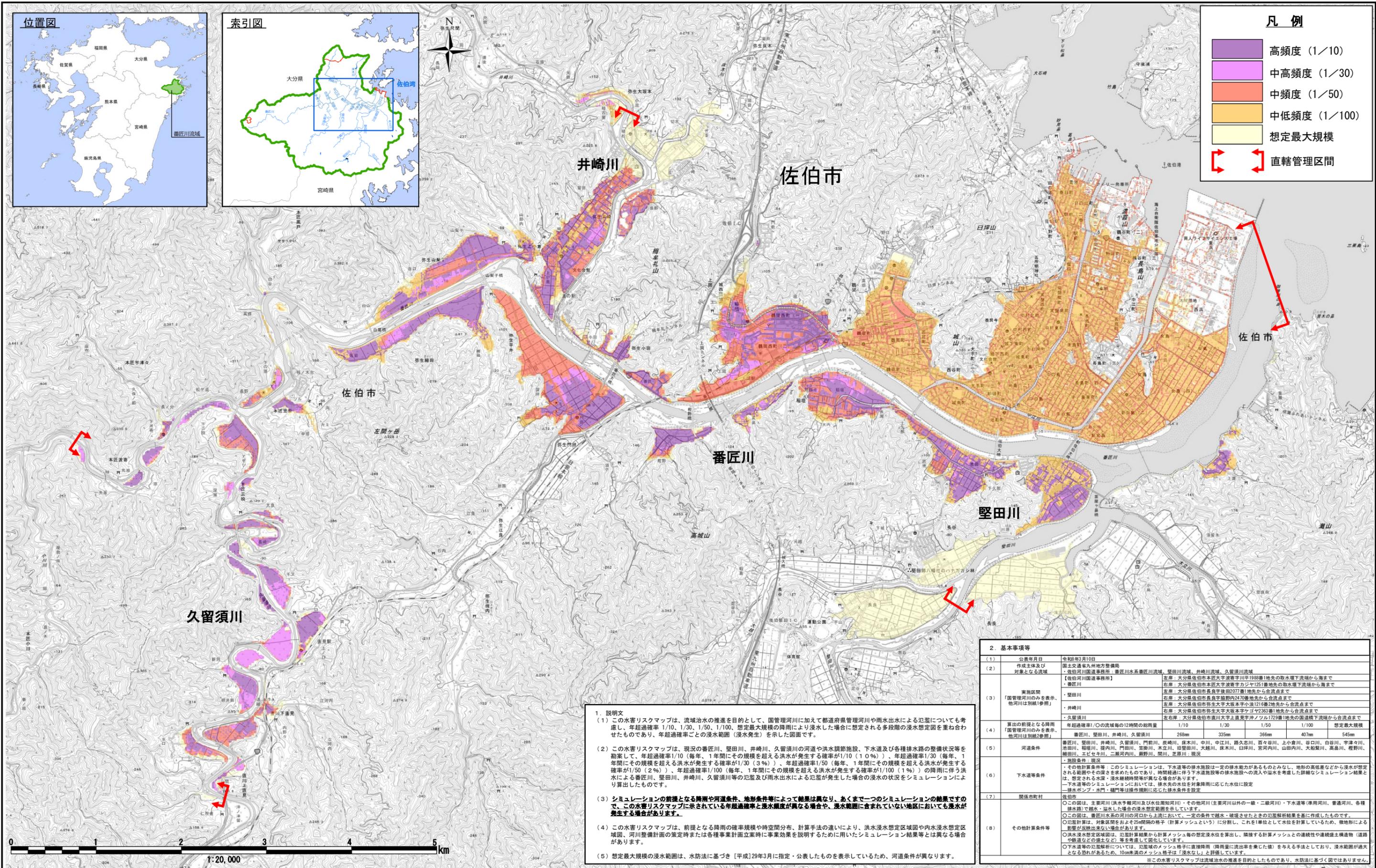


番匠川水系 内外水統合の氾濫を対象とした水害リスクマップ

浸水が想定される範囲を表示



凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 想定最大規模
- 直轄管理区間

1. 説明文

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率 1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、現況の番匠川、堅田川、井崎川、久留須川の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水による番匠川、堅田川、井崎川、久留須川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況やシミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーションの結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水範囲が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。

(4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時または各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

(5) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年3月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

(1)	公表年月日	令和8年3月10日
(2)	作成主体及び対象となる流域	国土交通省九州地方整備局 佐伯河川国道事務所・番匠川水系番匠川流域、堅田川流域、井崎川流域、久留須川流域 【佐伯河川国道事務所】 番匠川
(3)	実施区間 「国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照」	左岸：大分県佐伯市大字渡寄字川平1988番1地先の取水堰下流端から海まで 番匠川 右岸：大分県佐伯市大字渡寄字川平1251番地先の取水堰下流端から海まで 堅田川 左岸：大分県佐伯市長島字後田077番地先から合流点まで 井崎川 右岸：大分県佐伯市長島野野内2470番地先から合流点まで 左岸：大分県佐伯市大字大坂字小畑1216番2地先から合流点まで 右岸：大分県佐伯市大字大坂字上ノツル2363番1地先から合流点まで 久留須川 左岸：大分県佐伯市大字上ノツル1729番1地先の国道橋下流端から合流点まで
(4)	算出の前提となる降雨 「国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照」	年超過確率1/10の流域毎の12時間の総雨量 番匠川、堅田川、井崎川、久留須川
(5)	河道条件	268mm 335mm 366mm 407mm 545mm
(6)	下水道等条件	番匠川、堅田川、井崎川、久留須川、門前川、廣崎川、庄木川、中川、中江川、路久志川、百々谷川、上小倉川、谷口川、白谷川、宇津川、池田川、稲垣川、堤内川、門田川、笠原川、木立川、旧堅田川、大越川、床木川、日坪川、宮河内川、山田川、大船瀬川、高島川、櫻野川、細田川、エビセキ川、二瀬河内川、藤野川、間川、芝原川；現況
(7)	関係市町村	佐伯市
(8)	その他計算条件等	○この図は、主要河川（洪水干渉河川及び水位圏知河川）・その他河川（主要河川以外の一級・二級河川）・下水道等（準用河川、普通河川、各種排水路）で排水・溢水した場合の浸水想定範囲を示しています。 ○この図は、番匠川水系の河川の河口から上流において、一定の条件で排水・破壊させたときの氾濫断層結果を基に作成したものです。 ○氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割し、これを1単位として水位を計算しているため、微地形による影響が反映されない場合があります。 ○洪水浸水想定区域図は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続壁・構造物（道路や鉄道などの橋など）等を考慮して図面化しています。 ○下水道等の氾濫断層については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となる恐れがあるため、10mm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。 ※この水害リスクマップは流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

2. 基本事項等

(4) 算出の前提となる降雨

年超過確率および流域毎の 12 時間の総雨量	1/10	1/30	1/50	1/100	想定最大規模
番匠川、堅田川、井崎川、久留須川 木立川、旧堅田川、大越川、提内川、 床木川	268	335	366	407	545
門前川	78*	98*	105*	116*	629
炭崎川、門田川	91*	114*	123*	134*	
中川、中江川、路久志川、百々谷川 臼坪川、大船繫川、下水道	265	314	334	357	—
上小倉川、二瀬河内川、蕨野川	252	309	335	369	
谷口川、白谷川、笠掛川、山田内川、細 田川	296	355	380	413	
宇津々川	296	357	383	417	
池田川、稲垣川、宮河内川、高畠川、 檜野川、エビセキ川	262	318	343	375	
間川、芝原川	309	394	433	485	

※1/10、1/30、1/50、1/100 は 1 時間雨量の値

単位 : mm